

青春の約束 (1994)

頭髪乱丁
DIRT

メディア 映画
ジャンル 青春 ロマンズ
製作国 中国
色彩 Color
時間 98分
初公開日 1994/11/26
公開情報 T J C 東光徳間

【解説】

若者の風俗が丹念に描写されたラブ・ストーリーで、リリカルな映像が懐かしい。監督のフーは製作当時、弱冠26歳。スタッフを全て'91年北京電影学院卒の同期生でかため、化学会社から資金を出させてのデビュー作は、商業的要請にきちんと応えた上で、自分たちの“言いたいこと、言えること”をはっきり押さえている。タイトルバックにはなんとビートルズの“ヘイ・ジュード”が流れる。その作り方も実に70年代的。少女イエ・トンが懐かしい北京の共同住宅に戻ってきた。作曲家の父の隠し持っていたレコードの“ヘイ・ジュード”を聴いて、一家は批判され広州へ引っ越したのだ。文化大革命の猛威吹き荒れる時代だった。幼なじみとの再会は嬉しくも少しホロ苦い。犯罪者になった者もいれば、それを追う警官になった者もいる。医学院に進んだ彼女はそこで聞いたロック・バンドの演奏に魅せられる。ポーカーのポン・ウェイにも心ひかれた。彼らの練習場所探しのため奔走する彼女。共同住宅付近にそれを見つけたが、すぐに騒音が問題となり、警官となった幼なじみウェイ・トンが現われ、中学の親友だったポン・ウェイと衝突。党幹部の親に反抗しながらもそのスネをかじって好きに生活するロッカーと、家族のため進学も諦めた公務員とではおのずと対立の溝は深い。しかも、二人ともイエ・トンに恋していた。両者の間で揺れ動く少女の感情……。そして、事態は悲劇的な展開に転じてゆく。MTV的な流麗な映像をはさみながら、底辺にどこでもどんな時代にも流れる、青春の熱さが感知され、またロックがしっかり物語に絡みあっているのも、新世代の到来を予感させるに充分。

【クレジット】

監督 クワン・フー
脚本 クワン・フー
撮影 チャオ・シャフォン
ウー・チャオ
音楽 クオ・シャオフー
出演 コン・リン
チャン・シャオトン